

「登校再開の日に」

みなさん、お帰りなさい。コロナの状況が落ち着き、一日の半分を、学校で、友達と一緒に過ごす生活が戻ってきました。みんなが揃う日を心待ちにしていました。この学校生活を守るために、これからも感染予防にはしっかりと取り組んでいきましょう。

オンライン授業の期間に、みなさんはタブレットを上手に扱えるようになりました。これは、大きな成果です。よくがんばりましたね。これからもタブレットは、学校とおうちで使っていきます。けれども、使い方を間違えると、命にかかわるいじめや事故につながる危険があります。そこで、タブレットを使うときに守ってもらう約束を二つ、お話しします。タブレットはみんなの学校生活を豊かにするためだけに使う。人を傷つける道具にしない。この二つのルールを守ることを、今、先生方とみなさんと約束しましょう。先生たちも、みなさんが安心して楽しくたくさんのことを学び、心も健やかに伸びやかに成長してもらえるように、全力で取り組んでいきます。

さて、みなさんの貴重な時間をもらって、あと二つお話しします。

一つ目は、今月行われる体育発表会についてです。始業式で話した「オリパラのレガシー」の話を覚えていますか。「多様性と調和」「困難（簡単でないこと、大変なこと）に負けない力」のお話です。

体育発表会はみなさんにとってのオリパラです。オリパラでは、世界中のいろいろな人たちが個性やよさを認め合いながら、素晴らしい闘いを見せてくれましたね。今度は、みなさんの番です。体育発表会ではダンスや日本に古くから伝わる踊りなどに取り組み、その完成した姿をおうちの方々に見ていただきます。

クラスのいろいろな個性をもった友達と、心を一つにして目標に向かうことに意義があります。練習は難しかったり、大変だったり、体が痛んだりすることもあるかもしれませんが、その大変さを乗り越えて努力することに価値があります。発表日当日は、おうちの方にどんな自分を見てほしいですか。その姿を支えるのは、これからの練習です。最高の姿を見せられるように、力を合わせて、めあてをもって練習に取り組んでください。先生方は、みなさんががんばる姿をしっかりと見守り応援します。

二つ目のお話はやさしさのお話です。1学期に、校長先生が電車の中で見かけたかっこよくやさしい女性の姿を通して「思いやりの気持ちは、勇気ある行動とセットになって、本当のやさしさになる。」というお話をしました。最近、校長先生は学校で、二つのかっこやさしいに出会ったので、みなさんに紹介したいと思います。一つ目は、おいしい給食を考えてくださる栄養士の蓮見先生のことです。蓮見先生が今週突然に、長かった髪を短く切って来て、先生方をびっくりさせました。昔から「髪は女性の命」、などと言われていますが、女性でも男性でも、せっかく伸ばした大事な髪を切るときには勇気がいります。そっと理由を尋ねたところ、切った髪の毛は、必要な人のために寄付したそうです。このことをヘアドネーションと言います。病気やその治療などで髪を失った子どもたちに使ってもらえるように、髪の毛を寄付するのが、ヘアドネーションです。蓮見先生の髪は近い将来、誰かの頭をあたたかく包むことでしょう。蓮見先生の思いやりの心と行動する勇気が素敵です。かっこやさしいですね。

もう一つは、3月まで芝小に勤務していた高橋先生のことです。高橋先生は今、海外青年協力隊の一人として、マラウイ共和国という日本から千キロ以上も離れたアフリカ大陸にある国にいます。世界には、食べたくても食べられない、学びたくても学べない、生きてたくても生きられない人々や子どもたちがたくさんいます。そんな人のために、外国に行って自分の得意なことを生かして力になろうという取組が海外青年協力隊です。高橋先生は、先生としての力を、勉強をしたいと願う子どもたちのために役立てたいと、ずっと考えていたそうです。高橋先生の困っている人の役に立ちたいという思い、日本を遠く離れた国へ行くという勇気、とても素敵、かっこやさしいですね。高橋先生の活躍する様子は、芝小のホームページに載せたマラウイ奮闘記のページで見ることができます。ホームページを見ることで、高橋先生を応援しましょう。

今日は、みなさんの登校再開という大切な日に、「体育発表会」と「やさしさ」のお話をしました。これから始まる体育発表会の練習で、その他の場面でみんなのかっこやさしいが見られることを期待しています。